

会議名	第四回渋谷区小中一貫教育校（猿楽小学校・鉢山中学校）建て替え準備委員会	
日時	2025年5月20日（火）17:00～18:30	
場所	鉢山中学校 会議室	
出席者	事務局（渋谷区） 区	教育委員会事務局次長 未来の学校担当課長 教育政策課 学校施設整備第一係、第二係 計5名
	事務局（事業者） 明豊 渋谷区小中一貫教育校 (猿楽小学校・鉢山中学校) 建て替え準備委員会 委員	明豊ファシリティワークス株式会社 計3名 鉢山中学校 校長、副校長 猿楽小学校 校長、副校長 計12名（欠席：9名） 学校・地域関係者
資料	・第四回渋谷区小中一貫教育校（猿楽小学校・鉢山中学校）建て替え準備委員会資料	

内 容（カッコ内は発言者） ※発言者は、出席者欄の略称により記載します。		
1. 開会		
<ul style="list-style-type: none"> 半数以上の委員に出席いただいているため、会を開会します。（区） 今年度最初の建て替え準備委員会の開催のため、新しい委員の方の紹介を行いました。（区） えびすふれあい広場への出展について、お越しいただいた方へのお礼と、当日の状況を報告しました。（区） 委員長挨拶（鉢山中学校 校長） <p>年度が変わり新しいメンバーとなりましたが、引き続きご協力よろしくお願ひいたします。</p>		
2. 議題		
<p>（1） 建て替え準備委員会スケジュールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> スケジュールの説明を行いました。 これまでの建て替え準備委員会の振り返りとして、各回議題の概要を説明しました。（区） <p>（2） 第三回建て替え準備委員会の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> 第三回建て替え準備委員会の振り返りとして、頂いた意見と検討時期の説明をしました。（区） <p>（3） 第四回議題</p> <p>（以下、明豊より説明）</p> <p><建物配置について></p> <ul style="list-style-type: none"> 計画中の学校は、現状の鉢山中学校に対して約2.6倍、現状の猿楽小学校と鉢山中学校の合計に対して約1.4倍の床面積を予定しています。 配置検討を行った建物規模は、延床面積約15,000m²、校舎棟（地上4階）+体育エリア（地下3階）で想定しています。渋谷区の整備方針に沿った豊かな空間を確保するために、既存の学校より建物の必要面積は大きくなっています。 建物配置は、A案：校舎北側、B案：校舎西側、C案：校舎南側について比較検討を行っております。B案は他の案と比べ、近隣への音の伝搬の懸念はありますが、整形な校庭の広さを確保でき、約120mのトラックが確保できます。また、北側および東側近隣への建物による圧迫感が現状より低減されるため、望ましいと考えています。 各配置案について、敷地の出入り口と動線の検討を行っています。どの案においても児童・生徒と地域開放の動線は分けることができます。また、給食などの車動線と児童・生徒が利用する正門は、南側車道に接する地盤高さの関係上、近接した位置に配置される想定で、どの案でも差はありません。 以前から要望いただいている北側公園に抜ける通路は、資料に表現していませんが、技術的には設けることが可能であると考えています。一方、東京都の土地が擁壁と公園の間にあるため、通行の可否は都と協議が必要となります。（区） <p><学校施設の機能ゾーニング></p> <ul style="list-style-type: none"> 機能配置の考え方を説明しました。新校舎の地上部分にラーニング・コモンズおよび普通教室や特別教室などの児童・生 		

徒が利用する諸室を配置しています。地上に配置しきれない体育館、屋内プール、給食調理室、武道場を校舎地下に配置しています。（明豊）

- ・ ゾーニングに吹き抜けの表現がありますが、ガラスを入れるなど音が伝わらない工夫を行うことで、上下階における音の伝搬の問題を出さないように計画しています。（区）
- ・ 現時点での機能ゾーニングとしては、西側に特別教室、東側に普通教室を配置していますが、設計者によって提案は変わってきます。機能ゾーニングは参考にご覧いただき、本日は建物配置について意見を伺いたいと考えています。（明豊）

（質疑応答）

- ・ 計画している学校の体育館は、既存の鉢山中学校より大きくなりますか。（委員）
1年生から9年生の全校児童・生徒が集まることが出来る体育館の規模ですか。（委員）
⇒全校児童・生徒が集まることが可能な広さを確保することを計画しています。（区）
- ・ 備蓄倉庫はどこに設けますか。スペースの確保と、搬出入の方法は検討してもらいたいです。（委員）
⇒設計段階で対応を検討していきます。（明豊）
- ・ 教室は既存学校より大きくなりますか。また、クラス数の想定を教えてください。（委員）
⇒各教室面積は既存よりも大きくなるよう検討しています。小・中学校共に1学年2クラスの合計18クラス（2教室×9学年）に加え、少人数教室を9室見込んでおり、1学年あたり最大3クラスまで対応できるように想定しています。（区）
- ・ 職員室は広めに作ることが必要ではないでしょうか。（委員）
⇒余裕をみた面積で想定しています。（明豊）※第二回建て替え準備委員会資料参照
- ・ B案の場合は、東側へ校庭の活動音が伝達しやすいため、近隣住民の理解を得ることが必要ではないでしょうか。（委員）
⇒植物などの干渉帯を設けることも、伝搬音を抑える手段として有効ですので検討していきます。（明豊）
- ・ 現在の鉢山中のプール使用時に、近隣から音の苦情は出ていますか。（委員）
⇒近隣からの苦情はありません。プールが校庭より低い位置にあり、壁に囲まれているため近隣には音が行きにくいのだと思います。（委員）
⇒音の問題は、行事でスピーカーを使用するときに発生するケースが多いです。区内の他の学校では、一時的に防音ネットを張って対応していることもあります。（区）
- ・ プールは25mプールでしょうか。また、コース数はいくつの想定でしょうか。（委員）
⇒プールの長さは25mプールで、現状6コースの想定です。入水用のスロープを設けるなども含めて今後検討していきます。（区）
- ・ 色々な意見が出ていますが、配置案についてはB案で進めることでいかがでしょうか。（区）
⇒委員、一同了承。

（4） ハード面以外の検討について

（以下、区より説明）

<検討スケジュールについて>

- ・ 5/1にPTAの方々を中心に説明した渋谷区小中一貫教育校の整備について、検討スケジュールを中心に説明を行いました。
- ・ 現在検討中の基本計画は、今年度中に完成予定です。また、鉢山中学校敷地での既存校舎の解体および建設開始時期については、先行している広尾中・松濤中の工事が当初予定を超えて3年以上かかる状況のため、ロードマップから1年遅れて令和11年度の予定です。
- ・ 校名、校章、校歌については、渋谷本町学園設立時と同様の手順を踏むことが想定され、完成の2年前頃から検討を開始する予定です。
- ・ 学校選択制については、長谷戸小や常磐松小の児童が小学校入学時から小中一貫教育校を選べるようにしてほしいという意見を踏まえ、検討中です。開校年度に6年生となる学年は、現時点では令和9年に小学校へ入学する子供

であり、選択制については令和8年度の夏以降の周知を予定しています。

- ・現在の検討スケジュールは、昨今の施工者的人材不足や建築業界の働き方改革による労務時間の縮減により、工期延伸となるケースが全国的に生じている影響を鑑みながら、検討時期や周知の時期は見直す予定です。
- ・学校の特色については、区としての教育政策の方向性を踏まえつつ、地域特性等を考慮し、その時々の時流に合わせて検討していきます。

<猿楽小敷地について>

- ・猿楽小学校跡地は、周辺校建て替えのための代替校舎として利用します。また、代替校舎としての利用が終了した後は、「渋谷区『新しい学校づくり』整備方針」に記載のとおり、第2グラウンドとしての活用を想定していますが、今後の地域のニーズ等を踏まえ検討します。具体的な検討は、代替校舎としての利用が終了する数年前からになるものと考えています。

<今後の情報共有について>

- ・建物に関する説明会は、令和7年末に、基本計画説明会を実施予定です。その他、実施設計時には近隣住民等に向けた「渋谷区中高層建築物等の建築に係る紛争の予防と調整に関する条例」に基づく説明会を実施予定です。
- ・新入生や保護者への説明会は、各校で毎年開催している新入生向け学校説明会等にて、建て替えの影響を受ける学年に向けて説明予定です。また、Home&Schoolやコドモンへの配信、保育園などとも連携をし、周知に努めます。
- ・建て替え準備委員会の資料と議事要旨について、現在は、ニュースレターで建て替えに関する情報を公開していますが、今回の第四回建て替え準備委員会から、ニュースレターに代えて、会議資料と議事要旨を公開する方向で考えています。

(質疑応答)

- ・近隣小のPTAなどの学校関係者が、本建て替え準備委員会へ参加する件については、参加・不参加は相手次第とはいえ声は掛けた方が良いと考えています。（委員）
⇒現在、参加の意思を確認しています。（区）
- ・引越しは4月など児童・生徒にとって区切りの良い時期になりませんか。（委員）
⇒春は教員の人事異動等もあるため、学校の負担軽減の観点から、できるだけ春休み引越しは避けたいと考えています。一方で、仮設校舎の利用期間の制約も考えられるため、複合的な検討が必要と考えています。（区）
- ・建て替え準備委員会資料の公表は区のHPで行いますか。区が地域と話をしていないという意見も見聞きするため、公開してもらった方が良いと思います。（委員）
⇒学校HPで公開し、渋谷区HPからリンクでアクセスできるようにする予定です。（区）

(5) 次回の主な議題について

- ・今年の7月上旬から中旬の間で、保護者の方や地域の声を把握し、学校の改築を進める際の参考とすることを目的に、WEBアンケートを実施予定です。具体的なアンケート実施内容は、次回の建て替え準備委員会で説明予定です。（区）
- ・基本計画の作成に際して、まず基本計画の素案を作成します。具体的な内容は、次回の建て替え準備委員会で説明予定です。（区）

(質疑応答)

- ・アンケートの実施については、スケジュールが延びるのであればなおさら、未就学児のいる家庭に周知した方が良いのではないか。（委員）
⇒方法を含めて検討します。（区）

4. 閉会

- ・第五回建て替え準備委員会は6月下旬から7月上旬頃に実施予定です。実施日時は、決定次第通知します。（区）